

博士前期課程

基盤科目

計画・都市特論 II 2単位 Urban and Architectural Planning II

入門授業の第2段階として、また応用授業の基盤となる知識や考察力を養うことを目標に、建築・都市の設計・計画における基礎的知識をさらに深める。具体的には、伝統建築や近代建築を基礎とした我が国の建築文化の特質などを背景に、地域特性と建築の関わり、建築のプログラミングや保存・再生・修復、建築設計における意匠・構造・環境の関わり、新しい建築デザインの潮流など、現代における建築・都市の計画・設計の実態と課題を学ぶ。

目標: 伝統建築や近代建築を基礎とした我が国の建築文化の特質について、具体的な建築作品を通して理解し、説明できる。現代の都市における建築的課題の枠組みを理解し、説明できる。先端的な建築の計画・デザインの事例について、意匠・構造・環境の関係性を理解し、説明できる。

構造・構法特論 II 2単位 Structural Engineering and Construction II

入門授業の第2段階として、また応用授業の基盤となる知識や考察力を養うことを目標として構造・構法をさらに学習する。ここでは、建物の安全性を確保するために考慮しなければならない建築物に作用する外力を学習し、それらの外力に対して建物の安全性を確保するための建築構造設計の考え方を理解する。建物の安全確保をテーマに、木造住宅を対象に、壁量設計、許容応力度設計、保有水平耐力設計、限界耐力設計などの設計法を理解し、木造建物の安全を確認できる設計力を養う。

目標: 建物に要求される安全性を理解し、設計できる。建物に作用する荷重に関する知識を概略理解し、説明できる。建物の構造設計法の概略を理解し、説明できる。木造建物の構造設計法を理解し、計算できる。

環境・設備特論 II 2単位 Environmental Engineering and Building Systems II

建築学全般における計画原論として、健康・安全・快適な環境の構築法について修得することを目指す。建築・都市環境における光・音を中心とした基礎知識とスキルを実際の事例のケーススタディによって学ぶ。視覚的・聴覚的視点からの空間デザインに関わる課題演習を実施することで建築環境工学の基礎を固める。

目標: 建物に要求される快適性や安全性を理解できる。建築や都市に関わる環境要素のうち光・音に対する設計手法の概略を理解し、説明できる。